

Single Video Projector Controller
Users Manual

SVPC-110PA / SVPC-010PA

SVPC-120PA / SVPC-020PA

(第 7 版)



～ 目次 ～

1	概要	3
1.1	型式名一覧	3
1.2	特長	3
2	仕様	4
3	オプション	5
4	各部の機能	6
4.1	前面	6
	VP 映写スイッチ	6
	ソース切替スイッチ	7
	シャッター(映像 mute)スイッチ	7
	電源スイッチ	7
4.2	底面	8
	底面ロータリースイッチ	8
4.3	背面	10
	AC インレット	10
	AC アウトレット	10
	DIP-SW	11
	2 ピース端子台 TB1/TB2	11
	モニタ LED	12
	RS-232C(RJ45/8P8C)	12
5	設定及び設置方法	13
5.1	設定・接続	13
5.2	設置	16
5.2.1	ラックマウント(1 台)	16
5.2.2	ラックマウント(2 台連結)	16
5.2.3	据置き	16
6	動作フロー	17
7	改訂履歴	18

1 概要

1.1 型式名一覧

SVPC-110PA	アナログ系映像ソース用・映像ソース選択スイッチ付 受注生産
SVPC-010PA	アナログ系映像ソース用・映像ソース選択スイッチ無 受注生産
SVPC-120PA	デジタル系映像ソース用・映像ソース選択スイッチ付 標準品
SVPC-020PA	デジタル系映像ソース用・映像ソース選択スイッチ無 受注生産

1.2 特長

- ・ 本ユニットはパナソニック製ビデオプロジェクタ(以降 VP)の1台用コントローラです。
- ・ VPの電源・ランプの点灯及びクーリングの制御及と、映像ソースの切り替えが本ユニット全面パネルまたは外部スイッチによって簡単にコントロールできます。
- ・ SVPC-110PA/SVPC-010PAではRGB1,RGB2,VIDEOの他に選択ソースとしてS-VIDEO,DVI,SDI,AUXのいずれかを選択できます。
- ・ SVPC-120PA/SVPC-020PAではHDMI,DVI,RGB1の他に選択ソースとしてVIDEO,S-VIDEO,RGB2,SDI,NET,SDI1,コンポーネント1,PC1のいずれかを選択できます。
- ・ シャッター制御を標準で備えており、映像教材を使用しながらの講義などで簡単に映像をミュート可能です。
- ・ 外部にスイッチなどを設けて、リモート制御することが出来ます。このときDC12Vのサービス電源供給とともに、オープンコレクタで状態を出力します(LED/照光スイッチなどが接続できます)
- ・ 設置工事に際して半田ごてを使用せず配線が完了します。
- ・ 初期ソース選択機能・自動停止機能(消し忘れ防止)があります。
- ・ 各社プロジェクタに順次対応予定です。
- ・ 欧州 RoHS 指令に対応しています。

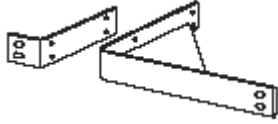
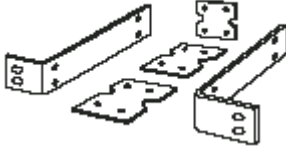
2 仕様

名 称	Single Video Projector Controller
型 式	SVPC-110PA / SVPC-010PA
対 応 機 種	PT-D4000/D5000/D6000/DW6300/DZ6700/DZ6710 TH-D7700 TH-D10000/DW100/D12000/DZ12000(1) ET-YFB100 (平成 25 年 10 月現在)
寸 法	(W)210mmx(D)約 260mmx(T)44mm (ゴム足未装着時)
重 量	約 1.7Kg
電 源	AC100V ± 10% 50Hz/60Hz
消 費 電 力	約 10VA/5W (接続される VP の消費電力は含みません)
最大供給電流	10A(プロジェクタの電源容量上限)
温 度	保管: -10 ~ 50 使用: 0 ~ 40
筐 体	SPCC メラミン焼付け塗装(アイボリー)
添 付 品	2 ピース端子台ケーブル側 10 極スクリーロックストレート x2 RJ45(8P8C) D-Sub9 ピン変換コネクタ x1 電源ケーブル(2m) x1 ゴム足(クリア/貼り付け) x4

(1)電源を制御するにはオプションの電源制御ボックスが必要です。

名 称	Single Video Projector Controller
型 式	SVPC-120PA / SVPC-020PA
対 応 機 種	PT-FX400 (順次対応予定)
寸 法	(W)210mmx(D)約 260mmx(T)44mm (ゴム足未装着時)
重 量	約 1.7Kg
電 源	AC100V ± 10% 50Hz/60Hz
消 費 電 力	約 10VA/5W (接続される VP の消費電力は含みません)
最大供給電流	10A(プロジェクタの電源容量上限)
温 度	保管: -10 ~ 50 使用: 0 ~ 40
筐 体	SPCC メラミン焼付け塗装(アイボリー)
添 付 品	2 ピース端子台ケーブル側 10 極スクリーロックストレート x2 RJ45(8P8C) D-Sub9 ピン変換コネクタ x1 電源ケーブル(2m) x1 ゴム足(クリア/貼り付け) x4

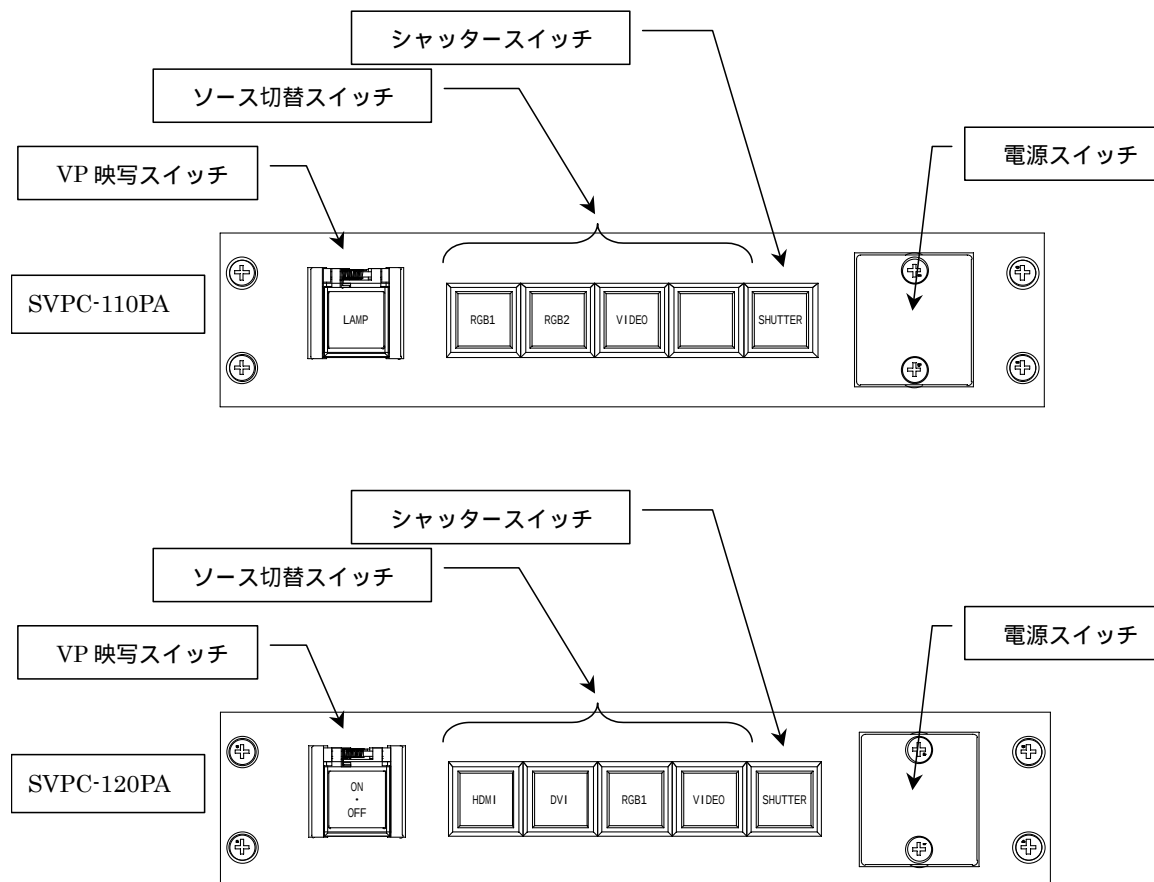
3 オプション

型式	名称
SVPC-RM1	1 台用 19 インチラックマウント金具(YBSKG024 相当)
YBSKG024(2)	1 台用 19 インチラックマウント金具  旧型式：WQ-LMK44/1-W
SVPC-RM2	2 台用 19 インチラックマウント金具(YBSKG025 相当)
YBSKG025(2)	2 台用 19 インチラックマウント金具  旧型式：WQ-LMK44/2-W
SVPR-110EJ	100V/10A 以下用電源制御ボックス(計画中)
SVPR-115EJ	100V/15A 以下用電源制御ボックス(計画中)
SVPR-210TJ	200V/10A 以下用電源制御ボックス(計画中)
DA9-PMJ8K-S01	RJ45(8P8C) D-Sub9ピン変換コネクタ(添付品と同じです)
ULJP-C-ULJPSS-2	電源ケーブル 2m(添付品と同じです)
MC1,5/10-STF-3,81	2 ピース端子台ケーブル側 10 極スクリューロックストレート (2 個使用) (添付品と同じです)
KGC-MC1,5/10	2 ピース端子台ケーブル保持ケース(2 個使用) (電線の保護と端子台の挿抜が楽になります)

(2)株式会社横浜ビジネスサービス製品、パナソニック幹旋品。弊社では取扱いしません。

4 各部の機能

4.1 前面



VP 映写スイッチ

VP に電源を供給し、映写状態にするスイッチです。また映写状態で押すと自動的にクーリングを行い、VP の電源を切ります。

VP に AC 電源が供給され、何らかの制御がなされているときは照光スイッチの LED が点灯又は点滅します。

LED	状態
消灯	VP に AC を供給していない
早い点滅 (0.5 秒周期)	映写状態への制御中 80%点灯：通常の ON 制御 20%点灯：映写状態になる前に OFF 操作をした(映写状態になったら自動的にクーリングへ移行する)
遅い点滅 (1 秒周期)	クーリングをして、OFF への制御中 20%点灯：通常の OFF 制御 80%点灯：クーリング完了前に ON 操作をした(クーリング完了後に再び映写状態にする)

ソース切替スイッチ

VP が映写中に映写する映像ソースを選択するスイッチです。

択一選択で後押し優先です。

選択されている映像ソースに割当た照光スイッチの LED が点灯します。

SVPC-0xxPA には装備されていません。

シャッター(映像 mute)スイッチ

VP が映写中に映写をミュート状態にします。

再度シャッタースイッチを押すか、ソース切替スイッチを押すと映写状態になります。

SVPC-0xxPA には装備されていません。

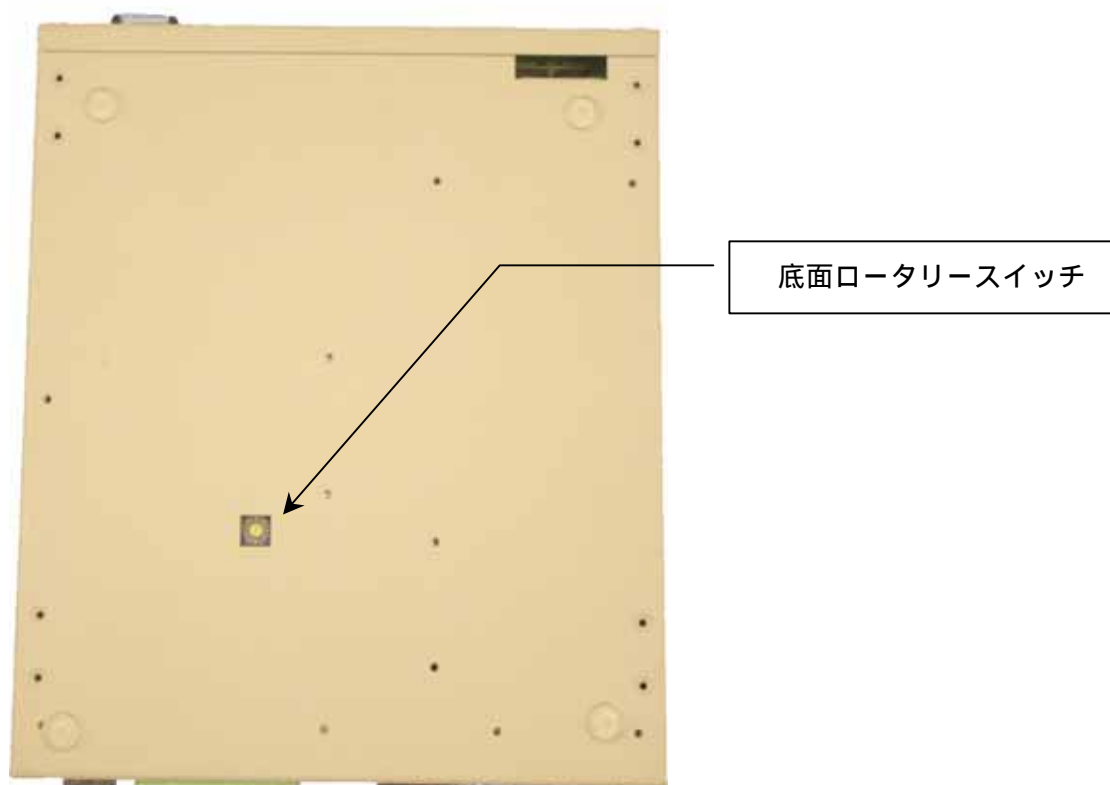
電源スイッチ

波型ロッカースイッチです、設置前に ON にしてください。

設置前であれば底面から $\phi 6$ 以下のプラスドライバ等で操作可能です。

設置後は全面の M3 ねじ 2 本を外せば指で操作できます。

4.2 底面



底面ロータリースイッチ

制御対象の機種および使用する映像ソースを選択します。

制御のタイミングなどが機種ごとにことなるので、同じ映像ソースを選択する場合でも正しく機種を選択してください。

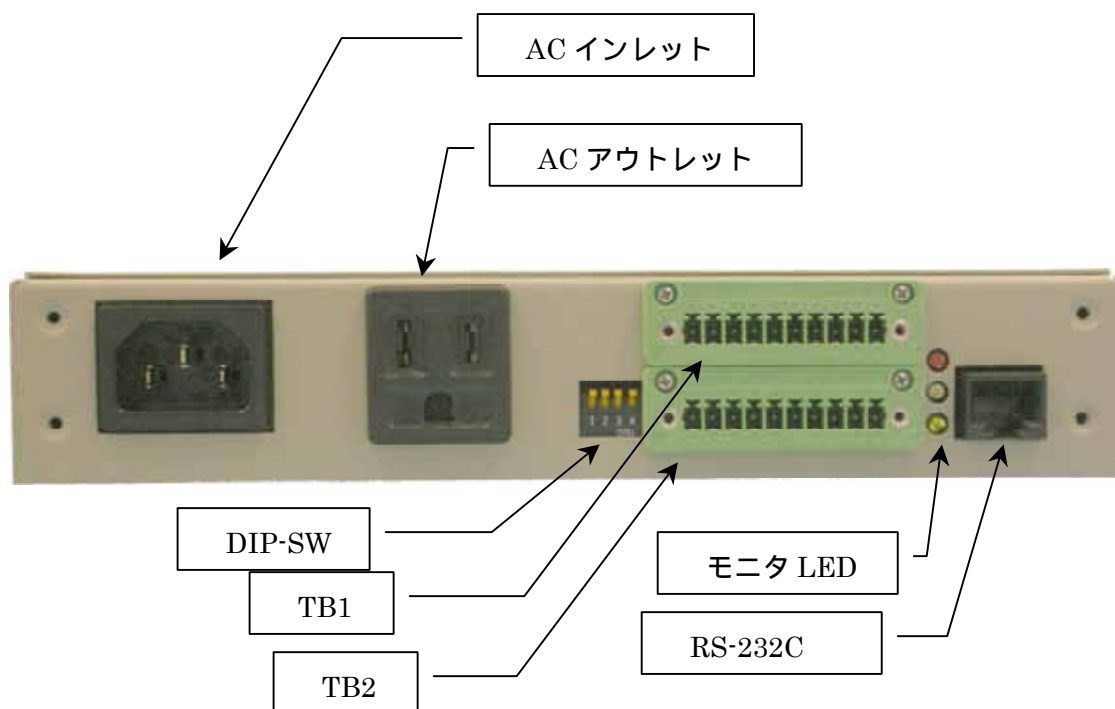
・ SVPC-110PA / SVPC-010PA

設定値	選択ソース	対応機種
0	RGB1/RGB2/VIDEO/S-Video	PT-D4000, PT-D5000, PT-D6000, PT-DW6300, PT-DZ6700, PT-DZ-6710
1	RGB1/RGB2/VIDEO/DVI	
2	RGB1/RGB2/VIDEO/SDI (PT-DZ-6710 のみ)	
3	RGB1/RGB2/VIDEO/S-Video	TH-D7700
4	RGB1/RGB2/VIDEO/AUX	
5	RGB1/RGB2/VIDEO/S-Video	TH-D10000, TH-DW100, TH-D12000, TH-DZ12000
6	RGB1/RGB2/VIDEO/DVI	
7	RGB1/RGB2/VIDEO/AUX	
8	RGB1/RGB2/VIDEO/HDMI	TH-DW8300
F	HDMI1/HDMI2/PC1/VIDEO	ET-YFB100 (デジタルリンク) PT-VW431D
その他	未使用(設定禁止)	将来割当予定

・ SVPC-120PA / SVPC-020PA

設定値	選択ソース	対応機種
0	HDMI/DVI/RGB1/VIDEO	PT-FX400(SDI 以外) 他機種にも順次対応予定
1	HDMI/DVI/RGB1/S-VIDEO	
2	HDMI/DVI/RGB1/RGB2	
3	HDMI/DVI/RGB1/NET	
4	HDMI/DVI/RGB1/SDI1	
5	HDMI/DVI/RGB1/コンポーネント1	
6	HDMI/DVI/RGB1/PC1	将来割当予定
その他	未使用(設定禁止)	

4.3 背面



AC インレット

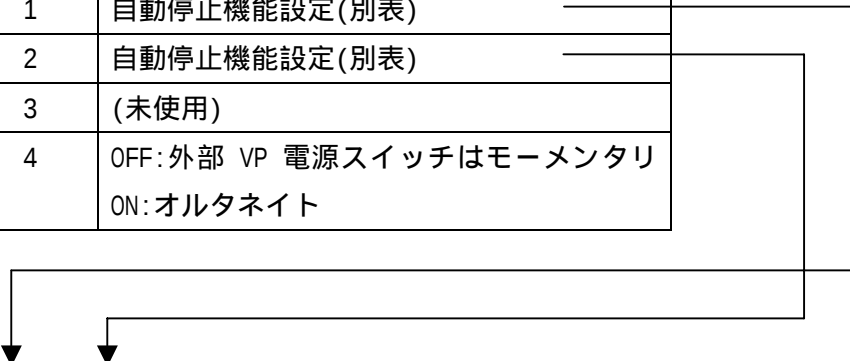
本ユニット及び、AC アウトレットに接続する VP 用の AC100V を供給します。添付の AC ケーブルで本ユニット+VP の合計容量を踏まえて余裕のある AC コンセントに接続してください。

AC アウトレット

VP に AC100V 電源を供給します。容量は最大 10A です。

DIP-SW

DIP SW	機能
1	自動停止機能設定 (別表)
2	自動停止機能設定 (別表)
3	(未使用)
4	OFF:外部 VP 電源スイッチはモーメンタリ ON:オルタネイト



1	2	機能
OFF	OFF	自動 OFF なし
ON	OFF	30 分自動 OFF
OFF	ON	1 時間自動 OFF
ON	ON	2 時間自動 OFF

2 ピース端子台 TB1/TB2

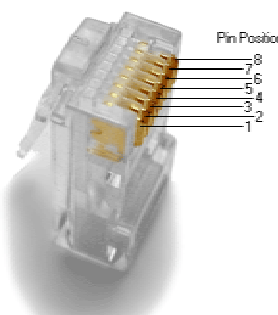
ピン番号	信号名	回路形式	機能	接続できる部品	回路条件
TB1.1	IN1	保護付TTL入力(負論理)	VP電源制御	モーメンタリ・オルタネイト入力	回路電流約0.5mA
TB1.2	IN2	保護付TTL入力(負論理)	RGB1	モーメンタリ	回路電流約0.5mA
TB1.3	IN3	保護付TTL入力(負論理)	RGB2	モーメンタリ	回路電流約0.5mA
TB1.4	IN4	保護付TTL入力(負論理)	NTSC	モーメンタリ	回路電流約0.5mA
TB1.5	GND	IN1~4用コモン			
TB1.6	OUT1	オープンコレクタ出力(負論理)	VP電源制御タリ	最大100mA	OUT1~8の合計 360mA
TB1.7	OUT2	オープンコレクタ出力(負論理)	RGB1タリ	最大100mA	OUT1~8の合計 360mA
TB1.8	OUT3	オープンコレクタ出力(負論理)	RGB2タリ	最大100mA	OUT1~8の合計 360mA
TB1.9	OUT4	オープンコレクタ出力(負論理)	NTSCタリ	最大100mA	OUT1~8の合計 360mA
TB1.10	+12V	OUT1~4用コモン		TB2と併せて最大500mA	
TB2.1	IN5	保護付TTL入力(負論理)	選択ソース	モーメンタリ	回路電流約0.5mA
TB2.2	IN6	保護付TTL入力(負論理)	SHUTTER	モーメンタリ	回路電流約0.5mA
TB2.3	IN7	保護付TTL入力(負論理)			回路電流約0.5mA
TB2.4	IN8	保護付TTL入力(負論理)			回路電流約0.5mA
TB2.5	GND	IN5~8用コモン			
TB2.6	OUT5	オープンコレクタ出力(負論理)	選択ソースタリ	最大100mA	OUT1~8の合計 360mA
TB2.7	OUT6	オープンコレクタ出力(負論理)	SHUTTERタリ	最大100mA	OUT1~8の合計 360mA
TB2.8	OUT7	オープンコレクタ出力(負論理)		最大100mA	OUT1~8の合計 360mA
TB2.9	OUT8	オープンコレクタ出力(負論理)	初期ソース選択	最大100mA	OUT1~8の合計 360mA
TB2.10	+12V	OUT5~8用コモン		TB1と併せて最大500mA	

モニタ LED

赤	VP への送信
緑	VP からの返信
黄	AC100V 供給中

RS-232C(RJ45/8P8C)

一般に LAN 用のストレートケーブルとして販売されている CAT-5 以上のストレートケーブルを使用して添付の「RJ45(8P8C) D-Sub9ピン変換コネクタ」を使って VP の SERIAL IN コネクタに接続します。

ケーブル側 8P8C プラグピン配列 	1	RxD
	2	
	3	TxD
	4	
	5	
	6	
	7	GND
	8	

5 設定及び設置方法

5.1 設定・接続

制御対象のプロジェクタと選択ソースを決めて底面のロータリースイッチで設定します。

外部に接続する VP 映写スイッチの接点方式と、自動停止時間を背面 DIP-SW で設定します。

必要なら TB1、TB2 に外部制御スイッチなどを接続して抜け止めのため端子台の固定ねじを締めます。

初期ソース選択機能を使いたい場合は以下のいずれかの結線を行います

SVPC-110PA,SVPC-010PA の場合(ロータリースイッチ 0~8)

T B 2.9	T B 1.2	映写開始時に RGB 1 を選択します
T B 2.9	T B 1.3	映写開始時に RGB2 を選択します
T B 2.9	T B 1.4	映写開始時に VIDEO を選択します
T B 2.9	T B 2.1	映写開始時に S-VIDEO,DVI,SDI,AUX のいずれか(選択ソース)を選択します

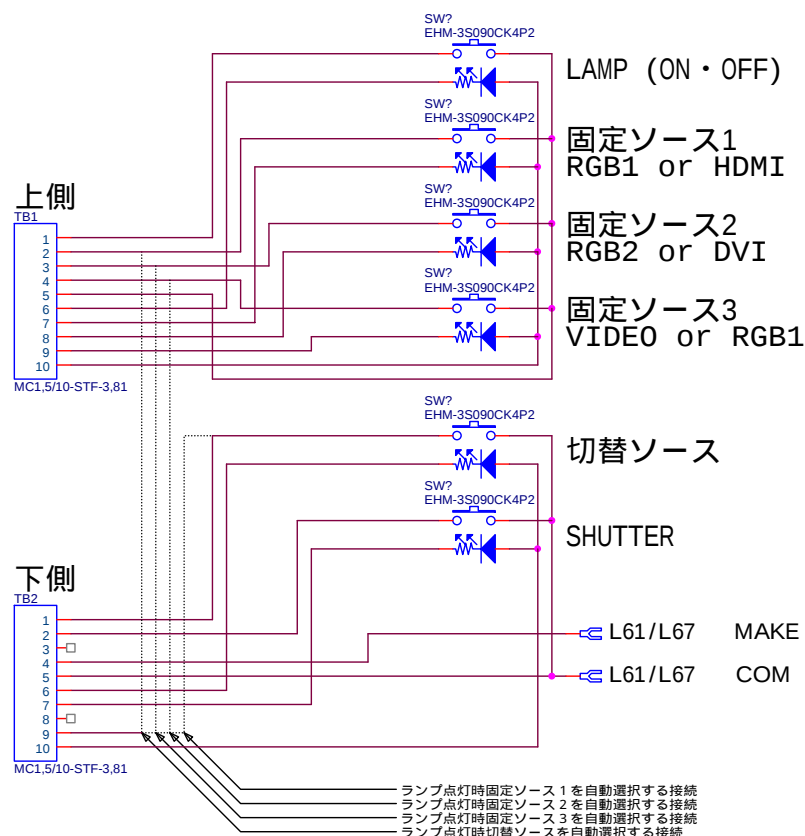
SVPC-110PA,SVPC-010PA の場合(ロータリースイッチ F)

T B 2.9	T B 1.2	映写開始時に ET - YFB100 の HD 1 を選択します
T B 2.9	T B 1.3	映写開始時に ET - YFB100 の HD2 を選択します
T B 2.9	T B 1.4	映写開始時に ET - YFB100 の PC1(RGB1)を選択します
T B 2.9	T B 2.1	映写開始時に ET - YFB100 の VIDEO を選択します

SVPC-120PA,SVPC-020PA の場合

T B 2.9	T B 1.2	映写開始時に HDMI を選択します
T B 2.9	T B 1.3	映写開始時に DVI を選択します
T B 2.9	T B 1.4	映写開始時に RGB1 を選択します
T B 2.9	T B 2.1	映写開始時に VIDEO,S-VIDEO,RGB2,NET,SDI1,コンポー ネント 1,PC1 のいずれか(選択ソース)を選択します

外部制御スイッチおよび、初期ソースの選択の結線例を下に示します。



	SVPC-110PA / SVPC-010PA	SVPC-120PA / SVPC-020PA
VP 制御	LAMP	ON・OFF
固定ソース 1	RGB1	HDMI
固定ソース 2	RGB2	DVI
固定ソース 3	VIDEO	RGB1
切替ソース	S-VIDEO/DVI/SDI/AUX	VIDEO/S-VIDEO/RGB2/NET,SDI1, コンポーネント 1,PC1
シャッター	SHUTTER	SHUTTER

シリアル通信のケーブル(CAT-5 以上のストレートケーブル)を接続します。VP 側は付属の変換コネクタを使い、VP の SERIAL IN に接続します。(注：ケーブルは 15m 以下としてください)

パワーディストリビューター（WU-L61/L67）の OFF に連動してプロジェクタを切りたい場合は、下側コネクタの と の間に電源供給時にメイク、遮断時にブレイクする無電圧接点を接続してください。

（注意）複数の WU-L61/L67 を連結して使用している場合には、必ず最後の WU-L61/L67 の接点を使ってください。途中の渡り配線から分岐して本機に接続すると、WU-L61/L67 の出力する 24V バイアス電源のため、本機が壊れます。

使用するプロジェクタの RS-232C デフォルトの通信速度が 9600bps ではないときには一旦赤外線リモコンなどでプロジェクタを起動し、メニュー画面から通信速度を 9600bps(Stop1,Parity-None)に変更して下さい。

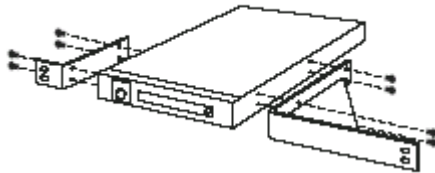
デジタルインターフェイスボックスを使用して、映像・音声と制御信号を UTP ケーブルで伝送したい場合には、プロジェクタの設定が必要です。

- ・制御コマンドをデジタルリンクから受け取る
「設定」→「RS232C」→「DIGITAL LINK」
- ・スタンバイ時にもネットワークを有効にする
「設定」→「スタンバイモード」→「ネットワーク」

5.2 設置

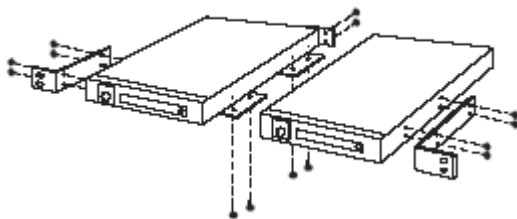
5.2.1 ラックマウント(1 台)

SVPC-RM1 又は YBSKG024(旧 WQ-LMK44/1-W)を使います。組立て方法は下図を参考にしてください。



5.2.2 ラックマウント(2 台連結)

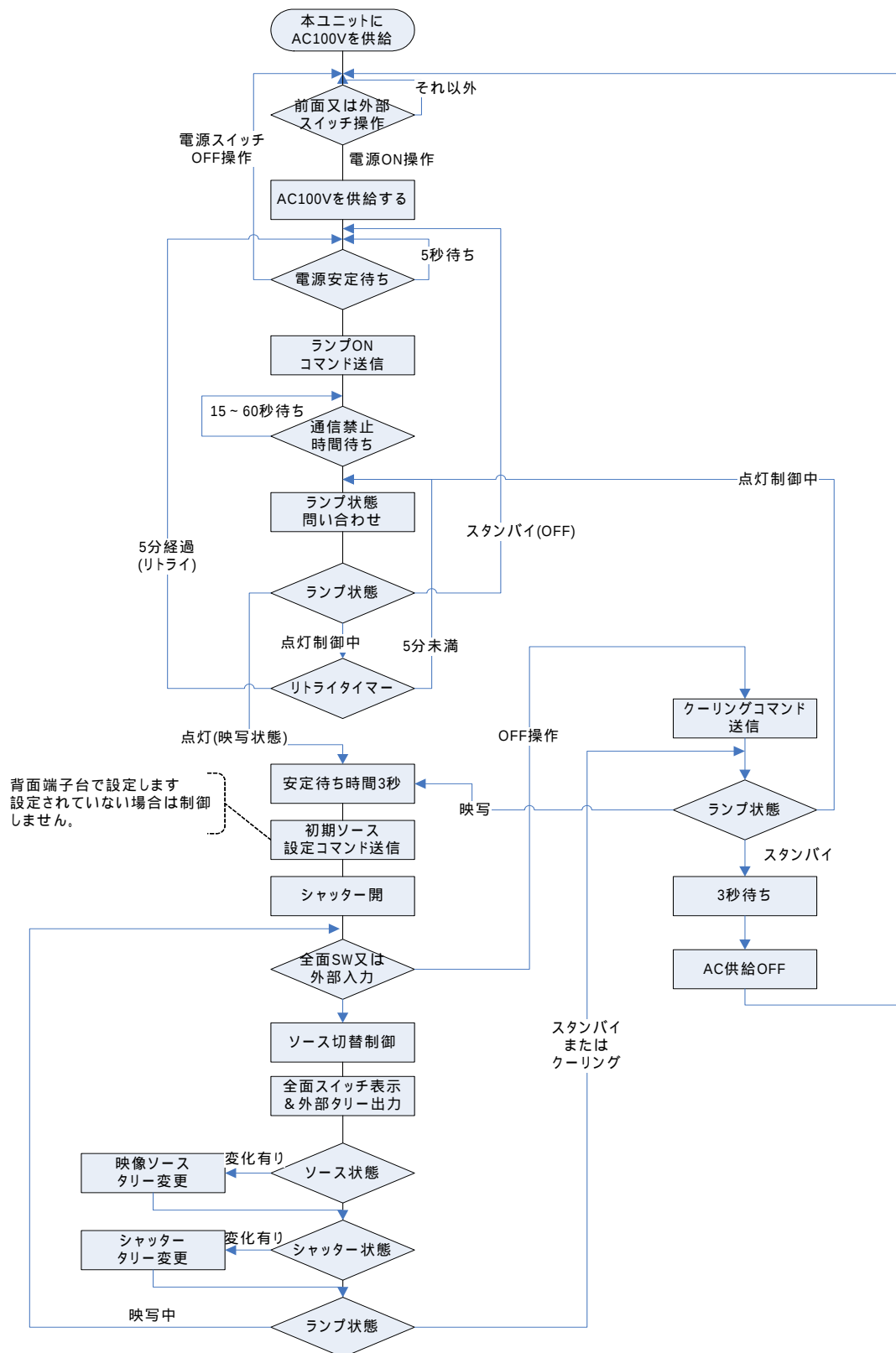
SVPC-RM2 又は YBSKG025(旧 WQ-LMK44/2-W)を使います。組立て方法は下図を参考にしてください。



5.2.3 据置き

添付のゴム足を底面に貼り付け、水平で安定したところに設置してください。

6 動作フロー



7 改訂履歴

版	日付		内容
1	2009/08/21	川俣	試作初期バージョン(Ver1.0)解説
2	2009/8/25	川俣	Ver1.01 ロータリースイッチですべてのソースを選択できる機能を追加
3	2009/8/25	川俣	Ver1.02 自動停止機能を追加
4	2010/5/21	川俣	ラックマウント金具の扱いが変更になったため修正
5	2013/7/29	川俣	メイツ電子製ラックマウント金具を追加 SVPC-120PA / SVPC-020PA を追加
6	2013/9/4	川俣	WU-L61/L67 の OFF に連動してプロジェクタのランプを OFF する機能を追加
7	2013/10/8	川俣	ET-YFB100 に対応するモードを追加

〒216-0001

神奈川県川崎市宮前区野川 1100-11

株式会社メイツ電子

TEL 044-755-6008

FAX 044-755-4411

e-Mail meitu@din.or.jp